

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月28日

計画の名称	北千里駅前再生のまちづくり												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和02年度 (3年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	吹田市												
計画の目標	<p>本地区は、千里ニュータウン北部、阪急北千里駅前に位置し、住民の暮らしや、地域活動を支える地区センターとして計画的に整備されました。開業から約50年、店舗リニューアルから約20年が経過し、施設の老朽化が進むとともに、周辺の大規模商業施設の立地により商業環境は厳しさが増えています。少子・高齢化の進展や生活の質の向上が優先される成熟社会への移り変わりの中、地区センターを再生することは、千里ニュータウンの持続可能な発展からも急務です。</p> <p>一方で本地区センターの大規模権利者は令和3年度までに資産売却の方針を公表しています。このような中、再開発事業による都市機能の更新や魅力ある都市空間の整備、地区内および周辺市街地への移動利便性の確保、多様な利用者ニーズに合った魅力ある商業・サービス機能の整備を、大規模権利者等との連携のもと推進し、快適で魅力ある北千里駅前の再生を目指します。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	41	A	41	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R01末	R02末
1	事業実施に向けた、土地・建物所有者の合意形成割合を0%から100%にする。			
	土地・建物所有者の合意形成割合(%)	0%	30%	100%
	事業に合意している土地・建物所有者の数/土地・建物所有者の数(市街地再開発事業検討区域内の権利者(7権利者))			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	吹田市	直接	吹田市	-	-	都市再開発支援事業 (北千里駅前地区)	街区整備計画策定 (3.1ha)	吹田市						41		-
											小計						41		
											合計						41		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31			
配分額 (a)	3	5			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	3	5			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	3	5			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 北千里駅前再生のまちづくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 計画の目標と指標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 目標及び事業内容と事業区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 地域資源の活用やハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画が事業実施期間内に完了する。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○

参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	北千里駅前再生のまちづくり	交付対象	吹田市
計画の期間	平成30年度 ~ 令和2年度 (3年間)		

